

# Nikon



スピードライト撮影作例集

# SB-5000

SB-5000の機能を活用した  
撮影テクニックをご紹介します。

株式会社 **ニコン**  
株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

©2016 Nikon Corporation

TT6D01(10) 8MSA9810-01

Jp

# Index

---



## 1 バウンス撮影

..... 3~4 ページ



## 2 日中シンクロ

..... 5~6 ページ



## 3 アドバンストワイヤレスライティング リモートフラッシュ

..... 7~8 ページ



アドバンストワイヤレスライティング  
**4** ワイヤレス増灯撮影  
..... 9～10 ページ



アドバンストワイヤレスライティング  
**5** 電波制御ワイヤレス  
増灯撮影  
..... 11～12 ページ

アドバンストワイヤレスライティングについて ..... 13～14 ページ

# 1

## バウンス撮影

フラッシュヘッドを上方向に向け、天井に反射させた光を利用するテクニックです。光を拡散させることでやわらかいライティングとなり、髪の毛のディテールをしっかりと表現しつつ、見た目に近い自然な写真が撮れます。



露出モード：プログラムオート

シャッタースピード：1/30秒

絞り値：f/5

ISO感度：200

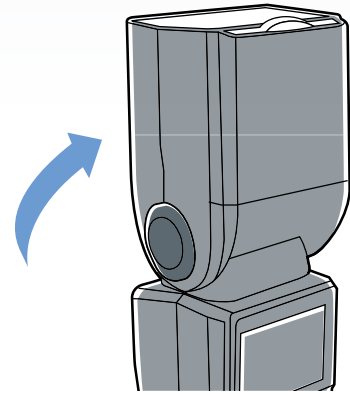
発光モード：i-TTL-BL

▶ Index





スピードライトなし



フラッシュヘッドを上方向に向ける



天井に光を反射させて撮影。ワイドパネルを使用して光をより拡散させるとともに、キャッチライト反射板で瞳の中にハイライトを入れ、生き生きした表情に。

▶ Index

## 2

# 日中シンクロ

逆光状態の被写体を適正な明るさで撮影するテクニックです。オートFPハイスピードシンクロと併用することで、絞りを開いて背景をぼかした撮影が楽しめます。



露出モード：マニュアル

シャッタースピード：1/2500秒（オートFPハイスピードシンクロ）

絞り値：f/2.8

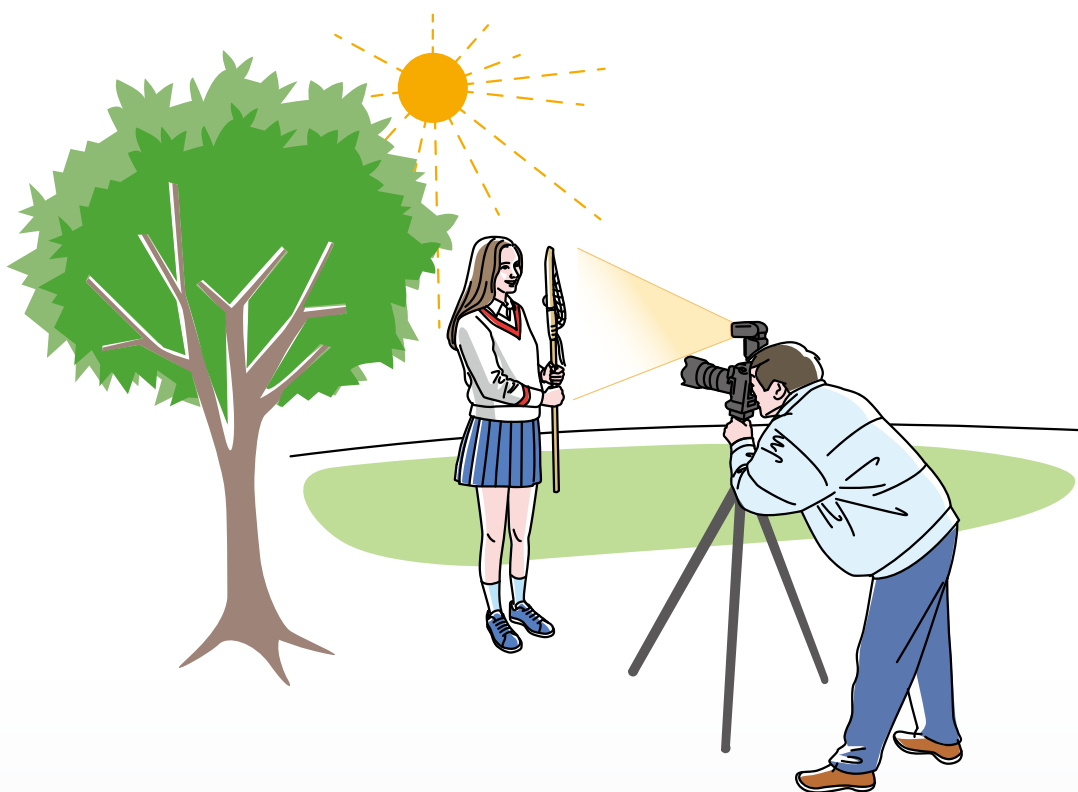
ISO感度：100

発光モード：M x 1/4

▶ Index



スピードライトなし



カメラの露出モードをMまたはAにセットし、お好みの絞り値で撮影。

▶ Index

# 3

アドバンストワイヤレスライティング

## リモートフラッシュ

スピードライトをカメラから離して、好きな角度・位置から光を当てるテクニックです。たとえば、被写体の横から光を当てると、光と影のコントラストを強調した写真が撮れます。



露出モード：プログラムオート -0.3EV

シャッタースピード：1/30秒

絞り値：f/5

ISO感度：200

リモートフラッシュ Aグループ：TTL

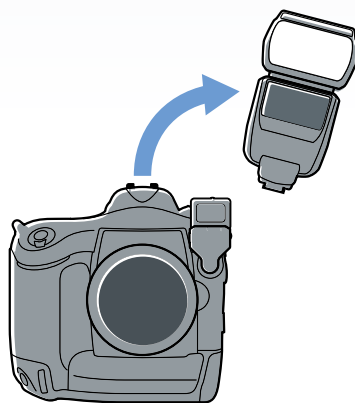
露出補正：背景のみ補正

▶ Index





スピードライトをカメラに装着して使用  
(被写体の正面から光を照射)



カメラから離して使用  
(リモートモードに設定)



電波制御で撮影。

アドバンストワイヤレスライティングについては、13ページをご覧ください。

▶ Index

# 4

アドバンストワイヤレスライティング

## ワイヤレス増灯撮影

複数のスピードライトを使用することで、被写体の前面を明るくする、輪郭を際立たせる、影を和らげるなどの効果を組み合わせることができます。



露出モード：プログラムオート -1.0EV

シャッタースピード：1/4秒

絞り値：f/4.8

ISO感度：200

マスターフラッシュ：TTL -0.7EV (バウンスアダプターを装着)

リモートフラッシュ Aグループ：TTL +2.7EV

露出補正：背景のみ補正

▶ Index



スピードライトを1灯使用  
(カメラに装着して、被写体の正面から光を照射)

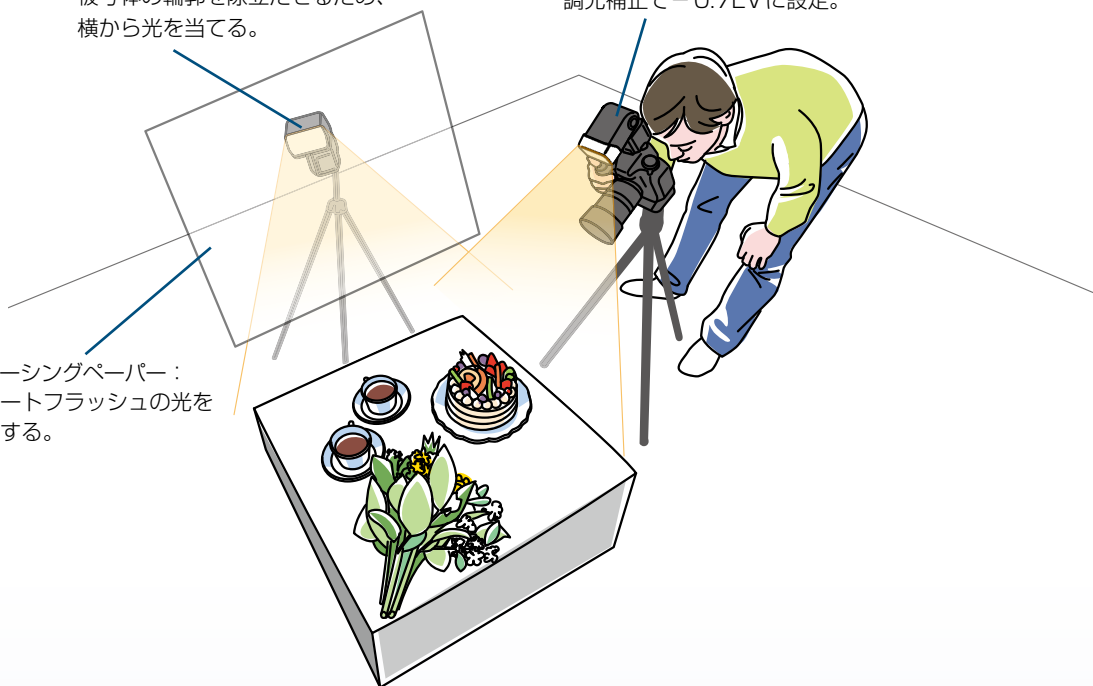


スピードライトなし

リモートフラッシュ Aグループ：  
被写体の輪郭を際立たせるため、  
横から光を当てる。

マスターフラッシュ：  
ケーキの前面を明るくする。  
リモートフラッシュの効果を生かすため、  
調光補正で-0.7EVに設定。

トレーシングペーパー：  
リモートフラッシュの光を  
拡散する。



電波制御で撮影。

アドバンストワイヤレスライティングについては、13ページをご覧ください。

▶ Index

# 5

アドバンストワイヤレスライティング

## 電波制御ワイヤレス増灯撮影

電波制御のワイヤレス増灯なら、壁の向こう側を明るくするなど、障害物があってもリモートフラッシュを光らせることができます。



露出モード：プログラムオート

シャッタースピード：1/1250秒（オートFPハイスピードシンクロ）

絞り値：f/4

ISO感度：100

マスターフラッシュ：TTL（ワイドパネルを使用）

リモートフラッシュ Aグループ：M x 1/1

▶ Index





## 光制御で撮影

(光制御では、壁の向こう側に設置したリモートフラッシュを光らせることができないため、室内が暗く写ってしまう)

リモートフラッシュ Aグループ：  
室内を明るくする。  
壁の向こう側に設置したスピードライトを電波で制御。

マスターフラッシュ：  
被写体を明るくする。  
パウンス撮影でやさしい光を使用。



電波制御で撮影。

アドバンストワイヤレスライティングについては、13ページをご覧ください。

▶ Index

# アドバンストワイヤレスライティングについて

下記の組み合わせで、アドバンストワイヤレスライティングがお楽しみいただけます。

## 電波制御の場合

### カメラ※1



**D5  
D500**

### マスターフラッシュ※2



**SB-5000**

### リモートフラッシュ



**SB-5000**

## 光制御の場合

### カメラ



**ニコン  
クリエイティブ  
ライティング  
システム (CLS)  
対応カメラ**

### マスターフラッシュ※3



**SB-5000  
SB-910  
SB-700  
SB-500※4**

### リモートフラッシュ



**SB-5000  
SB-910  
SB-700  
SB-500**

※1 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 (ファームウェア Ver. 3.00以降) とWR用変換アダプター WR-A10 (いずれも別売り) が必要です。

※2 マスターフラッシュを使わずに、カメラ側で各スピードライトの発光設定を行うことも可能です。

※3 内蔵フラッシュのコマンダー (CMD) モードを搭載したカメラをご使用の場合、マスターフラッシュを使わずに、カメラ側で各スピードライトの発光設定を行うことも可能です。

※4 SB-500をマスターフラッシュとして使用するには、外付けフラッシュのコマンダー (CMD) モードを搭載したカメラが必要です。

▶ Index

### 光制御と電波制御を併用する場合

#### カメラ※5



**D5**  
**D500**

光制御と電波制御の併用時には、D、E、Fグループのリモートフラッシュ（電波制御）に関する設定はカメラ側で行います。

#### 光制御マスターフラッシュ



**SB-910**  
**SB-700**  
**SB-500**※6

カメラに装着した光制御マスターフラッシュで、A、B、Cグループのリモートフラッシュを制御します。

#### リモートフラッシュ

A、B、Cグループ（光制御）



**SB-5000**  
**SB-910**  
**SB-700**  
**SB-500**※7

D、E、Fグループ（電波制御）



**SB-5000**

※5 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10（ファームウェア Ver. 3.00以降）とWR用変換アダプター WR-A10（いずれも別売り）が必要です。

※6 SB-500をマスターフラッシュとして使用する場合、リモートフラッシュは、A、Bの2グループのみ設定できます。

※7 SB-500はA、Bグループとしてのみ設定できます。